

2017 年 2 月 28 日

Ref.No.290201

全国大学獣医学関係代表者協議会

会長 尾崎博殿

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9-302 獣医学教育支援機構内

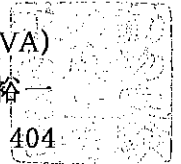
獣医学教育における生きた動物を用いた実習に関する要望書

NPO 法人 動物実験の廃止を求める会 (JAVA)

理事長 長谷川裕一

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 29 番 31 号 清桜 404

Tel:03-5456-9311/ Fax:03-5456-1011/E メール:java@java-animal.org



当会は動物と人間が共存共生できる豊かな社会を目指して、積極的な活動を展開している全国規模の特定非営利活動法人です。国連顧問団体をはじめ、世界 100 以上の NGO と協力し、連携をとりながら実践的で幅広い動物保護活動に取り組んでいます。

さて、本年 1 月、英国に本部を置く動物保護国際 NGO、Cruelty Free International (CFI) が、我が国の獣医大学における犬を用いた実習に関する活動を始めたことは、報道やインターネット等でご存知かと存じます。

CFI のウェブサイトでは、日本の獣医大学において、「代替法があるにも拘わらず、多数の犬が体を繰り返し切り開かれて縫い合わされるといった手技訓練に使われ殺されている」「犬たちは小さな金属製ケージに入れられ、かろうじて立ち上がったたり、向きを変えることのできるその狭いスペースの中をグルグルと回っていた」といった指摘がされております。CFI は、一部の大学だけを名指して、犬を用いた実習を行っているとしていますが、当会は、16 あるすべての獣医大学において、生きた犬を用いた実習が行われていると認識しています。

犬の飼養状況について

実習用の犬の飼養状況については、CFI が公開している複数の写真・動画を見る限り、屋外での飼養は適切な温度・湿度の管理はできず、窓もなく日の光が入らない部屋での飼養は、適切な明るさが保たれていません。よって、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の「第 3 共通基準」の「1 動物の健康及び安全の保持」の「(2) 施設の構造

等)の「イ 実験動物に過度なストレスがかからないように、実験等の目的の達成に支障を及ぼさない範囲で、適切な温度、湿度、換気、明るさ等を保つことができる構造等とすること。」に反しています。

また、輸送時などに使用されるいわゆる折り畳みケージでの比較的大きな犬を入れての飼養については、「ア 実験等の目的の達成に支障を及ぼさない範囲で、個々の実験動物が、自然な姿勢で立ち上がる、横たわる、羽ばたく、泳ぐ等日常的な動作を容易に行うための広さ及び空間を備えること。」に反していると、当会は厳しく指摘いたします。

代替法の採用について

英国では 8 校ある獣医学校のカリキュラムにおいて、犬をはじめ生きた動物を犠牲にする実習・実験は行われておらず、また米国の多くの獣医学校では様々なカリキュラムにおいて代替法が提供されていることはご存知のとおりです。

これらの国と日本では、法の規定の関係上、臨床実習で行える手技訓練に差があったり、献体プログラムが確立されていないなど様々な違いはあるでしょう。しかし、たとえば外科手技の訓練にシミュレーションを導入したり、開業病院との連携や献体プログラムの導入などを徐々にでも進めていくことにより、生きた動物の使用数を削減したりすることは可能と考えます。このような 3Rs に則った努力は「動物の愛護及び管理に関する法律」や「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」に規定されているとおり、動物を用いた実験・実習を行う機関の責務です。そして、この努力の継続が、臨床実習において、より高度な技術を学ぶことを可能にする獣医師法の改正にもつながるなど、獣医学教育における重要な改革になると考えます。

以上のことから、当会は、貴全国大学獣医学関係代表者協議会並びに加盟する全大学に対して、次のことを強く求めます。

- 1 CFI が指摘した犬の飼養状況に関して、調査を行い、改善をすること
- 2 各獣医大学が所有する動物の飼養環境を調査し、福祉に十分配慮した環境に改善すること
- 3 犬を用いた実習・実験について、速やかに代替法の採用を検討すること
- 4 犬以外の動物を用いた実験・実習について、速やかに代替法の採用を検討すること

ご多忙の折り誠に恐縮ながら、上記 1 から 4 の要望とそれに伴う調査・検討結果につきまして、4 月 25 日までに書面にてご回答くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、この要望書を含めた関係資料は、国内外の関係団体、関係省庁、マスメディア等に提供する場合がございます。また、当会のウェブサイトやフェイスブック上で公開する場合もございますので、予めご了承ください。

以上